

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-141	13-306	慶應義塾大学
題名 (原題/訳)		
<p>Does Alcoholics Anonymous work differently for men and women? A moderated multiple-mediation analysis in a large clinical sample. アルコホーリクス・アノニマスは男性と女性で異なる効果をもたらすのか？ 大規模臨床調整多数媒介分析。</p>		
執筆者		
Kelly JF, Hoepfner BB.		
掲載誌		
Drug Alcohol Depend. 2013 Jun 1;130(1-3):186-93		
キーワード		
アルコホーリクス・アノニマス、性差、回復		
要 旨		
<p>背景</p> <p>Alcoholics Anonymous (AA) は男性の組織として始まった、しかし、現在約 3 分の 1 は女性である。過去の調査では、女性が少なくとも、男性と同程度に参加して、等しく AA から利益を得ることが明らかにされている。しかし、女性が AA から利益を得ることに関して、男性と同じか異なる方向でどうかは不明である。本研究は、性差が AA の回復を補助する機序を影響するかどうか調べた。</p> <p>方法</p> <p>アルコール依存症成人のコホート研究 (N=1726; 24%が女性; Project MATCH) のデータを使用し、治療の間の AA への参加、9 ヶ月の仲介者で、15 ヶ月の結果 (% Days Abstinent [PDA] (断酒した日の割合)、Drinks per Drinking Day [DDD] (飲んだ日の飲酒量) を調査した。過去に主張された機序 (すなわち、自己効力、鬱病、社会的ネットワーク、スピリチュアリティ/宗教性) が AA の効果がベースラインの値、媒介、治療と他の交絡因子をコントロールして、男性と女性で異なることを説明するかどうか、複数の媒介モデルで調べた。</p> <p>結果</p> <p>PDA に関して、メディエーターによって説明される AA の結果の比率は、男性 (53%) と女性 (49%) のために同程度だった。男性と女性の双方が社会的因子の変化から利益を得ることがわかったが、これらの機序は男性の間でより重要だった。DDD では、メディエーターは男性では AA の効果の 70%を、女性では 41% 占めた。また、男性は社会変動から利益の大部分を得た。AA の効果から独立して、陰性影響自己効力は、男性ではなく女性で結果との強い関係があることが示された。</p> <p>結論 :</p> <p>AA による回復の利点は、男性と女性の間で、その性質と大きさにおいて異なった。性差に基づく社会的役割と飲酒の内容に関連して回復チャレンジを行うことなど、異なるニーズを反映している可能性がある。</p>		